

○○○○学級		指導者	○○ ○○	特別支援学級用
題材	題材名等	すごろくトークをしよう		
	関連する自立活動の内容	区分	内容	
		人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること	
		コミュニケーション	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること	
題材目標〔個別設定〕	○みんなで決めた約束を守ってすごろくトークに参加し、 ・自分の思いや考えを友だちに、はっきりと分かるように伝えることができる（A児、B児） ・友だちの考えに関心を持ち、話を最後まで聞いたり、質問したりすることができる。（C児） 〔約束；元気な声で発表しよう / 話に反応をしよう（頷き、相づち等） / 話を最後まで聞こう / 一人一回は質問をしよう〕			
主な学習活動と指導上の工夫	●すごろくを振り、出た目のお題に応じて自分のことを友だちに伝える。 ●頷くなどしながら友だちの話を最後まで聞いたり、質問をしたりする ○ゲームの約束事をみんなで決め、その約束を守って取り組むようにする。			
本時（5／全7時間）	ねらい〔個別設定〕	A, B児…すごろくトークでゴールを目ざし、出たお題についてまとめたことを友だちにわかりやすく伝えることができる C児…すごろくトークを楽しむ中で、約束を意識して話を最後まで聞いたり、質問をしたりすることができる。		
	学習過程	「めあて（全体）」 「決めた約束を守って、友だちと一緒にすごろくトークを楽しもう」		
		「振り返り（個別または全体）」の視点 ・ A, B児・友だちに言いたいことをはっきり伝えられたか ・ C児・決めた約束を守って話を聞いたり質問したりできたか		
指導・支援と留意点	●学習活動 ○支援		備考（準備物等）	
		●ゲームの仕組みや約束ごとを確認する。 ○前時の学習を振り返りやゲームの約束の唱和をした後、自分のめあて〔チャレンジする約束〕を決める。 ●すごろくトークの内容について自分の考えをまとめる。（書く活動） ○好きなこと〔遊び、食べ物、アニメキャラ 等〕や将来の夢〔～になりたい、～をしたい等〕をまとめる。 ○思いつかない場合は、提示された数枚の絵カードから選択して決めるようにする。 ●順番を決めてすごろくトークに取り組む。（サイコロを振り、出た目の数だけ駒を進める） ○話すときや聞くときにチャレンジすることを教師と一緒に確認しながらゲームを進め、できたときには大いに認める。（徐々に教師の働きかけを減らしていく）	・すごろく板 ・サイコロ ・考えをまとめるワークシート ・お助け絵カード ・上がりメダル	

通級指導(△年1組)		指導者	〇〇 〇〇	通級指導教室用
題材	題材名等	顔の表情や仕草の絵カードを作って自分の気持ちを伝えよう。		
	関連する自立活動の内容	区分	内容	
		心理的な安定	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること	
		人間関係の形成	(3) 自己の理解と行動に調整に関すること	
	コミュニケーション	(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること		
題材目標	顔の表情や仕草などの絵カードを使って、自分の気持ちを伝えることができる。			
主な学習活動と指導上の工夫	●作った絵カードを使って気持ちを伝えるためのロールプレイングをする。 ○絵を描くことが好き(得意)な面を活かして顔の表情や仕草等のイラストを自分で描き、気持ちを伝えるための絵カードを作る。			
本時(4/全10時間)	ねらい	3枚の絵カードをつくり、どんな気持ちのときに使えばよいか知ることができる。		
	学習過程	「めあて」 「気持ちを伝えるための絵カード(『困っている』『たすけて』『うれしい』)を3枚つくろう。」		
		「振り返り」の視点 ・今日の学習の続きとしてやってみたいこと		
指導・支援と留意点	●学習活動 ○支援 ●見本のイラストから『困っている』『たすけて』『うれしい』の3つの表情や仕草を表すイラストを選ぶ。 ○「こまっている」ときの顔はどれかな?などと問いかけ、提示した3枚のイラストから選ぶようにする。 ○イラストを選んだら、その表情や仕草を実際にしてみるなどして、気持ちとイラストを関連付ける。 ●本時に作成した3枚の絵カードを「どんなときに使う」かを確認をする。 ○状況を表す簡単な文(話し)とイラストを示し、気持ちを伝えるにはどの絵カードを使うと良いか問い、適切な絵カードが選べたら気持ちが伝わることを認めて、絵カードを使う良さを意味づける。	備考(準備物等)	[曲]「ラーメン体操」 ・表情/動作のイラスト集 ・表情などを撮影 ・見本のイラスト ・描画のセット	

【自立活動：指導内容】

区 分	項 目
<p>(1) 健康の保持</p>	<p>(1) 生活のリズムや生活習慣の形成の関すること (2) 病気の状態の理解と生活管理に關すること (3) 身体各部の状態の理解と養護に關すること (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に關すること (5) 健康状態の維持・改善に關すること</p>
<p>(2) 心理的な安定</p>	<p>(1) 情緒の安定に關すること (2) 状況の理解と変化への対応に關すること (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に關すること</p>
<p>(3) 人間関係の形成</p>	<p>(1) 他者とのかかわりの基礎に關すること (2) 他者の意図や感情の理解に關すること (3) 自己の理解と行動の調整に關すること (4) 集団への参加の基礎に關すること</p>
<p>(4) 環境の把握</p>	<p>(1) 保有する感覚の活用に關すること (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に關すること (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に關すること (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に關すること (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に關すること</p>
<p>(5) 身体の動き</p>	<p>(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に關すること (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に關すること (3) 日常生活に必要な基本動作に關すること (4) 身体の移動能力に關すること (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に關すること</p>
<p>(6) コミュニケーション</p>	<p>(1) コミュニケーションの基礎的能力に關すること (2) 言語の受容と表出に關すること (3) 言語の形成と活用に關すること (4) コミュニケーション手段の選択と活用に關すること (5) 状況に応じたコミュニケーションに關すること</p>